

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年9月

事業所名 放課後等デイサービス虹の橋

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	プレイルームと学習室に分かれて支援を行っております。	学習室の改装を行い、宿題に集中して頂ける場所の提供を行う事が出来ている。
	2	職員の配置数は適切であるか	基準値以上に配置しております。	職員間での共有、同じ考え方で支援に入る
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	適切になっております	玄関部のみ段差があり、今後ご利用する方に配慮が必要になりましたら応じて改善致します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	毎日の活動をPDCAサイクルで振り返り、職員間で意見交換を行っております。	特に初めて行う活動に関しては、反省の声も多く、しっかり改善して次回に繋げている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者からの意見を基に職員間で話し合いを行い、業務改善を行っております。	しっかりと意見を受け止めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	当社ホームページにて公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価委員のピースケットさんに評価を頂き、業務改善に取り組んでおります。	改善しなければいけない所は、しっかりと改善をしていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	会社からの参加義務の他に、社内・外部共に各自でも自発的に研修に参加しております。	職員全員のスキルアップをする為、積極的に研修参加を行います。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	契約時、又はモニタリングの際に保護者のニーズ話し合いを行い、個別の利用計画を作成しています。	アセスメントの内容をしっかりと理解したうえで支援に入る。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	面談の際に使用しております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	毎日、職員間で意見交換を行い、より良い活動になるように行っております。	活動一つにしっかりとした目的を持ち、プログラムを立てる様にしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	習慣化する中で変化を加えて、考えながら取り組んでおります。	学習、創作活動、ゲーム、など変化を考えての毎日の活動を考える。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日・休日と時間配分を考え、長期休暇であれば、時間をかけて一つの作品制作など取り組んでおります。	休日、長期休暇などの時間が取れる時は学習時間の習慣化や全員での1つ作品作りを行う。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	本人の特性とニーズに合わせた計画を作成しております。	個別と集団を組み合わせで考えています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日14時からの昼礼にて、打ち合わせ（役割・道具等）確認をおこなっております。	その時のメンバーによって、どう進めて行くのかを考える。前回の活動の反省も含む
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	毎日全員での振り返りと、全員で情報交換を行いながら個別記録の作成をしております。	全員での反省と振り返り、全員での個人記録の作成を行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	記録を毎日必ずつけ、成果・改善点など話し合い、実行しております。	支援の内容、細かく記録に残し次回への支援改善に繋げる。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	年2度は必ず行い、その他気になる事があれば、早急に保護者への連絡を行い、面談の場を設けております。	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行う。

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	ガイドラインに沿い、複数組み合わせ変化を加えて支援を行っております。	ガイドラインに基づいて、活動の組み込み支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	参加しております。	行う際には、管理者と児童発達支援管理責任者が出席する。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	瓦版で毎月の行事予定等の情報発信と、送迎時に情報の共有を行っております。	情報の共有を行っています、トラブルがあった時には、連絡を取りすぐに対応を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	該当なし	今後、ご利用の方が該当されれば、その方に合わせて対応を行います。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	児童発達支援事業所との情報共有を行っております。	契約前にしつりと情報の共有を行い、すぐに支援が出来る様に準備しておく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	該当なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	研修案内が来た際は、積極的に参加をしております。	都合をつけて、研修には参加する様にしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	買い物訓練・公園などの外出を通じて地域の方々との交流をしております。	外出での公園、図書館の利用があります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	該当なし	誘われたり、今後対象の方がみえれば参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳の活用や、訪問・電話連絡などで情報共有を行っております。	保護者への連絡、早急に行う様に心掛けています、すぐにお伝えしたい時は電話で。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングの研修を開催しております。	参加者が少ない事が残念。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	必須事項として、事業所契約時に説明を行いお伝えしております。	契約時に重要事項説明書の方でお話しをしております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談に早急に対応し、相談支援員への情報伝達を行っております。	必ず職員間で共有、話し合いの場を持つ。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	親子遠足やお茶会などの行事を取り入れ、保護者同士の話し合いが出来る場を設けております。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情窓口にて迅速な対応が出来るようにしております。	適切に対応する事を心掛けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月の瓦版やインターネットにて行事予定等の情報を発信しております。	毎月必ず、請求書類と一緒に同封。LINEでも情報の提供を行っています。
	35	個人情報に十分注意しているか	研修を開催し、徹底しております。	個人情報保護法の研修も受け、徹底しております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	職員連携をし、視線・動作など注視し汲み取る等して対応しております。	構造化支援での対応を行う。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	サーバント夏祭りの開催を行っております。	
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	保護者には面談で説明・伝達を行い、職員には話し合いの場で周知を行っております。	定期的に活動に取り入れて、全利用者と身を守る訓練を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回以上避難訓練を行い、避難場所の確認をする活動など行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	社内・外部での虐待研修への参加をしております。	全職員が虐待研修を受けて、絶対に虐待を起こさない施設作りをしております。

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	契約時に説明を行い、個別支援計画書に記録を残しております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	重要事項説明書に記載あり、説明と同意所にサインを頂いております。	契約時に必ず確認をする様にしております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	全職員がヒヤリと思ったら記入し、職員全員で情報共有と話し合いの場を設けております。	会議の場での話し合いを設けています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年9月

事業所名

放課後等デイサービス虹の橋

	チェック項目	実数			割合	
		はい	いいえ	合計	■ はい	■ いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	5	100%	0%
	2 職員の配置数は適切であるか	5	0	5	100%	0%
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	5	100%	0%
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	5	100%	0%
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	5	100%	0%
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	5	100%	0%
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0	5	100%	0%
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	5	100%	0%
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	5	100%	0%
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	5	100%	0%
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	5	100%	0%
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	5	100%	0%
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	5	100%	0%
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	5	100%	0%
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	5	100%	0%
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	5	100%	0%
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	5	100%	0%
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	5	100%	0%
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	0	5	100%	0%	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	5	100%	0%	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	5	100%	0%
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	5	20%	80%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	5	100%	0%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	5	5	0%	100%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	5	100%	0%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	0	5	100%	0%
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	5	5	0%	100%
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	5	100%	0%
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0	5	100%	0%
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	5	100%	0%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	5	100%	0%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	5	100%	0%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	5	100%	0%
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	5	100%	0%
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	5	100%	0%
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	5	100%	0%
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	5	60%	40%
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	5	100%	0%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	5	100%	0%
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	5	100%	0%
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	5	100%	0%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	5	100%	0%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	5	100%	0%